

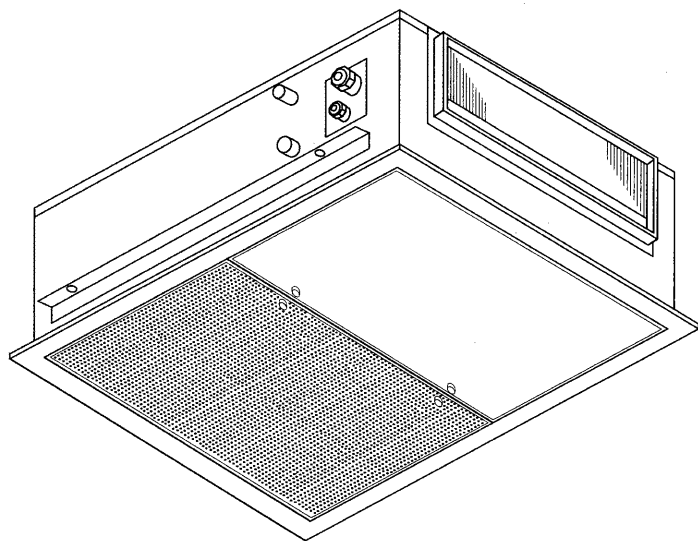
MITSUBISHI

三菱電機フリープランシステム

室内ユニット

PLFY-J・CLMD-Cシリーズ

取扱説明書



もくじ



	ページ
1. 安全のために必ずお守りください……………	1～3
2. 各部のなまえ……………	4・5
3. 運転のしかた……………	6～11
4. お手入れのしかた……………	12・13
5. こんなときには… Q&A……………	14・15
6. 保証とアフターサービス……………	16・17
7. 移設・工事・点検について……………	17
8. 仕様……………	18

このたびは三菱電機クリーンルームエアコンをお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。







- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 保証書は、『お買上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
- お客さまご自身では、据付・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

1. 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。

■“凶記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	感電に注意してください。
	絶対に分解しないでください。
	絶対に手で触らないでください。

●ご使用时

警告

吹出口、吸込口に指や棒等を入れない

- ・空気の吹出口や吸込口に指や棒を入れないでください。
- ・内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になります。



禁止

運転中にパネルやガードを外さない

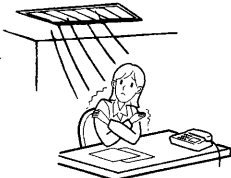
- ・機器の回転物、高温部、高電圧に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電により、ケガの原因になります。



分解禁止

長時間直接お肌に冷風を当てない

- ・長時間冷風を体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。体調悪化、健康障害の原因になります。
- ・本ユニットは低風速吹出タイプのため、ドラフト感はありませんが、吹出部真下での長時間作業は控えてください。



禁止

異常時は、運転を停止して販売店に連絡する

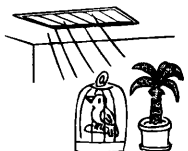
- ・異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災等の原因になります。
- ・音や振動がいつもと異なり、異常に大きな時は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。



電源を切る

直接風があたる所に動植物を置かない

- ・動植物に直接風が当たる場所には、設置しないでください。動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



設置禁止

エアコンに水をかけない

- ・エアコンは水洗いしないでください。
- ・濡れた手でスイッチを操作しないでください。



水濡れ禁止

●ご使用时

⚠注意

使用温度範囲を守る

- ・使用温度範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。



使用温度範囲

運転中掃除をしない

- ・掃除をするときは必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になることがあります。



禁止

長期停止のとき

- ・冷房シーズンオフなど長期間ご使用にならないときは、4～5時間送風運転して内部を十分乾燥させてください。不衛生な「カビ」が発生して室内ユニット内に付着し、HEPAフィルター寿命を早める原因となることがあります。
- ・長期間使用しないときは、「元電源」を“切”にしてください。電源が入っていると、数ワット～数十ワットの電力を消費するためです。また、ホコリ等が溜まって火災の原因になることがあります。
- ・運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。また、シーズン中は電源を切らないでください。故障の原因になることがあります。



リモコンを乱暴に扱わない

- ・リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- ・リモコンのボタンを先の尖ったもので押さないでください。破損したり、故障の原因になることがあります。
- ・リモコン上ケースを外さないでください。リモコン上ケースを外し、内部の基板などに触れますと危険なうえ、火災、故障の原因になります。
- ・リモコンをベンジンやシンナー、化学雑巾などで拭かないでください。変色、故障の原因になります。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげてください。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレー等を吹きつけない

- ・可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。発火の原因になることがあります。



使用禁止

運転停止後、すぐに電源を切らないでください

- ・運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。



素手で冷媒配管に触れない

- ・運転中の冷媒配管は、流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。素手で触れると、凍傷ややけどになる恐れがあります。



禁止

ユニットの周りに物を置かない

- ・吹出口、吸込口の近くに物を置かないでください。能力が低下、又は運転が停止する場合があります。



禁止

据付台などが傷んだ状態で放置しない

- ・長期使用で据付台等が傷んでいないか注意してください。傷んだ状態で放置すると、ユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。



放置禁止

ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

- ・ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。



禁止

ユニットの下に濡れて困るものを置かない

- ・室内機で湿度が80%以上の場合や、ドレン出口が詰まっている場合には、露が落ちる場合があります。
- ・室外機で特に集中排水工事を行わない場合は、ユニットの下よりドレン排水が流れ出ます。



設置禁止

清掃はこまめに行う

- ・プレフィルターを外したまま運転しないでください。内部にゴミが詰まり、故障の原因になることがあります。
- ・プレフィルターの掃除は、リモコンのプレフィルターサインを目安に行ってください。
- ・プレフィルターを外すときは、目にホコリが入らないように注意してください。また、踏み台に乗って行うときは、転倒しないようにしてください。
- ・フィルターの脱着作業は、室内の清浄度に影響が出ないよう、慎重に行ってください。



特殊環境に使用しない

- ・油、蒸気、アンモニア、硫化ガス等の多い場所で使用しますと、性能を著しく低下させたり、熱交換器等の部品が破損することがあります。



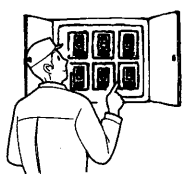
使用禁止

●据付け時

⚠警告

電源回路を確認する

- ・電源がエアコン専用の回路になっていることをご確認ください。
- ・正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。
- ・定格の電源、ブレーカー容量になっているかご確認ください。容量の大きなブレーカーあるいはヒューズや針金・銅線を使用しますと、火災やエアコンの故障の原因になることがあります。
- ・設置場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが必要です。漏電ブレーカーが取付けられていないと、感電の原因になることがあります。



専用電源使用

お客様自身で据付けしない

- ・据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。



禁止

据付け状態を確認する

- ・室外ユニットが転倒しないように、堅固で水平な基礎にアンカーボルト止めで固定されていることをご確認ください。
- ・室内ユニットは堅固な場所に水平に固定されることをご確認ください。



アース線施工

当社指定以外の部品を使用しない

- ・空気清浄機、加湿器、暖房用電気ヒーター等の別売部品は、必ず当社指定の製品を使用してください。また、取付けは、専門業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。



禁止

必要に応じて換気対応をする

- ・小部屋へ据付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。

⚠注意

アースを確認する

- ・アースを取付けてください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース線が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



ドレン配管確認

ドレン排水を確認する

- ・ドレン配管は、確実に排水するように施工してください。配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。



アース線施工

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所には据付けない

- ・万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



設置禁止

●このようなときはお買い求めの販売店にご連絡ください

⚠警告

お客様自身で移設はしない

- ・エアコンを移動再設置する場合は、販売店又は専門業者にご相談ください。据付に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。



禁止

エアコンを廃棄する場合

- ・エアコンを廃棄する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。配管接続を外すとき、正しい作業を行いませんと、冷媒（フロンガス）が急激に吹出し、皮膚に触れるとケガをすることがあります。また、冷媒を大気に放出すると、地球環境を汚染することになります。



故障した場合

- ・改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。修理に不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- ・リモコンにエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は、運転を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、火災や故障の原因になることがあります。
- ・電源ブレーカーがたびたび作動するときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、火災や故障の原因になることがあります。
- ・冷媒ガスが吹出していたり、漏れている場合は、エアコンを止めて部屋の換気を十分に行い、販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、酸素不足の原因になります。



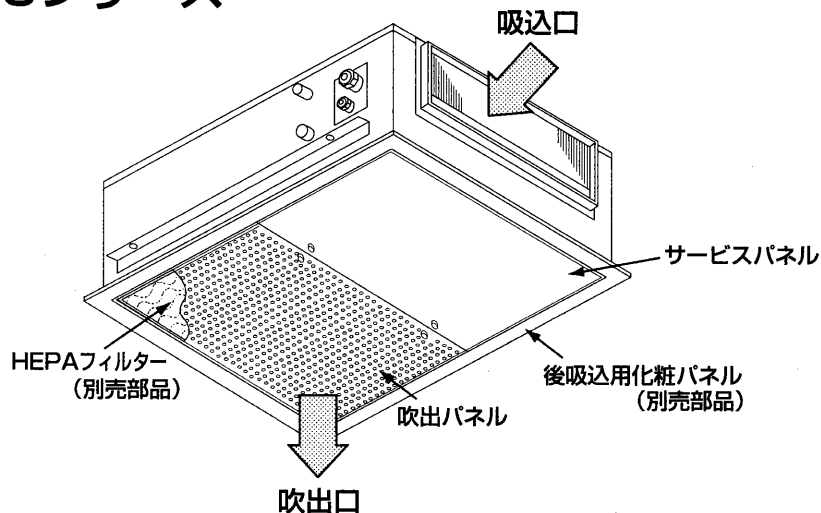
2. 各部のなまえ

1. 室内ユニット

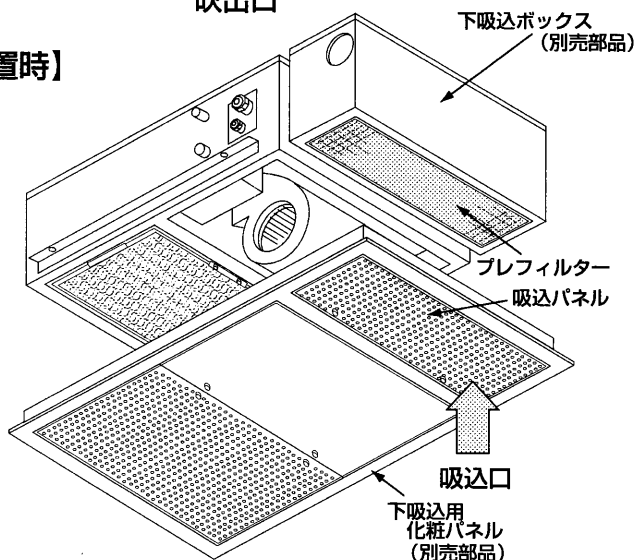
- 吹出口 直径3mmのパンチング鋼板を使用して、吹出パネル全面から空気を吹出します。
- 吸込口 室内の空気を吸込みます。
- HEPAフィルター 集塵効率99.97% (DOP法) の多風量型フィルターです。
- 下吸込ボックス 天井吸込方式とする場合に、本体を組合せて使用します。
- プレフィルター 下吸込ボックス (別売部品) に標準組込のフィルターは、目に見える程度のホコリやゴミを取除くための簡易フィルターです。(お手入れの仕方は、17. 18ページ)
- サービスパネル 送風機やドレンパンなど、アンダーメンテが可能です。

PLFY-J・CLMD-Cシリーズ

【本体】

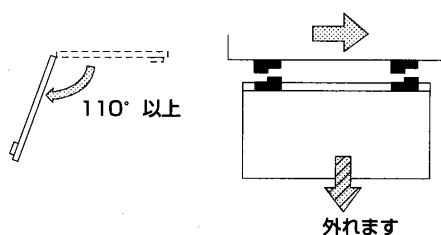


【下吸込ボックス (別売部品) 装置時】



⚠ 注意

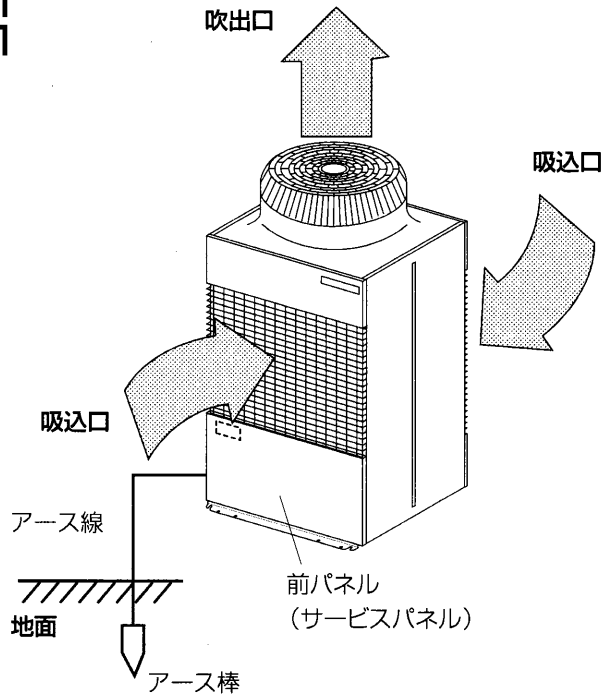
吹出パネル、サービスパネル、及び吸込パネルの蝶番は、パネル閉時の水平状態から110°以上開くと、水平方向にスライドさせて取外することができます。誤って落下させると、ケガの原因になります。



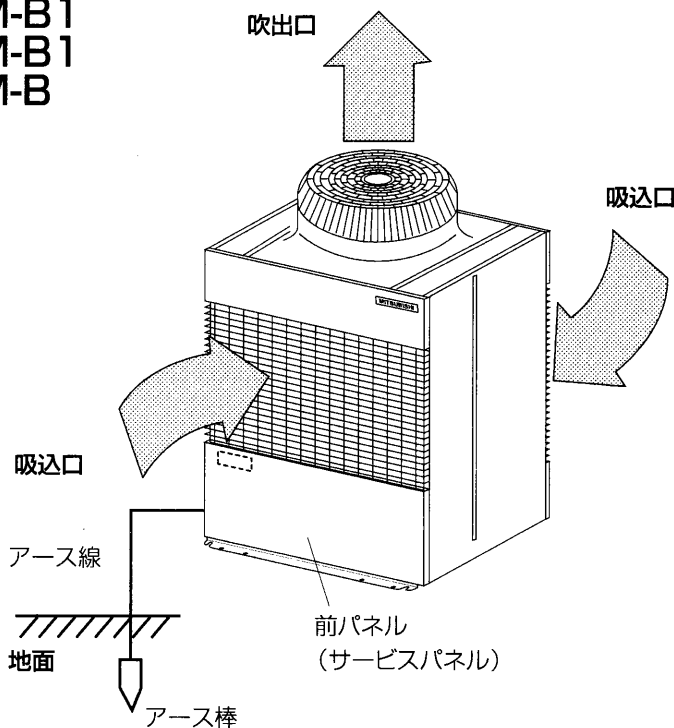
2. 室外ユニット

●システムにより形態が異なります。

PU(H)Y-J224M-B1
PU(H)Y-J280M-B1
PURY-J224M-A
PURY-J280M-A



PUHY-J355BM-B1
PUHY-J450BM-B1
PUHY-J560BM-B

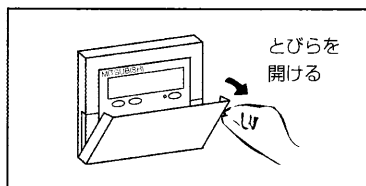
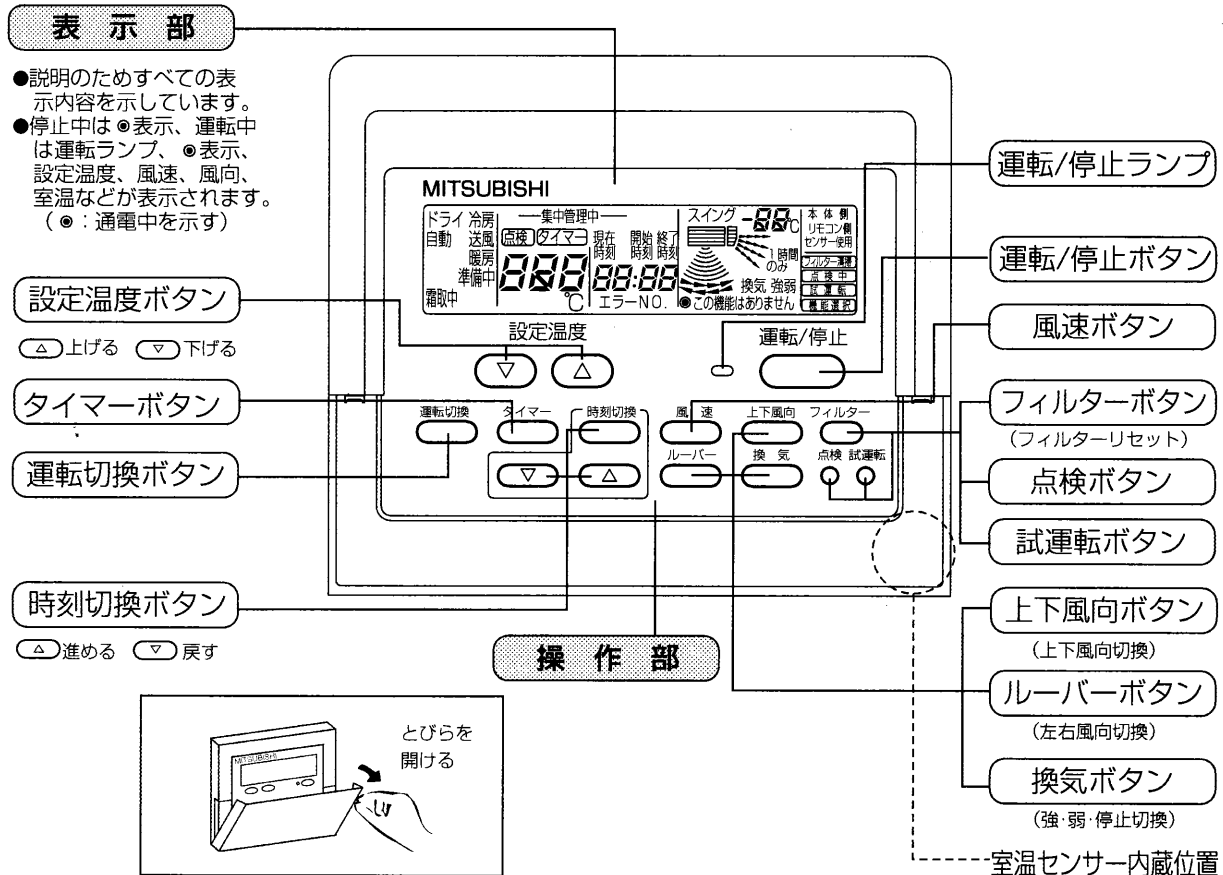


⚠注意

アースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

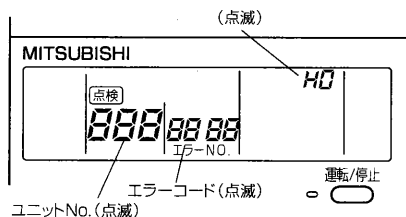
3. 運転のしかた

MAリモコン



MAリモコンガイド

- 電源を入れたとき、リモコン表示部に通電「入」表示(●)と HD (初期自動点検中表示) 点滅と運転ランプ点滅が表示されます。約3分間 (HD 点滅が消えるまで) お待ちください。停電が復帰したときにも動作 (HD 点滅) します。
- 冷房運転・ドライ運転と暖房運転は室外機の運転モードが異なります。
運転ボタンを押しても、室内ユニットが動かずリモコンの運転モードが点滅している場合、同一室外ユニットに接続された他の室内ユニットがすでに異なる運転モードで運転しています。運転切換ボタンで他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- 室温センサ位置は、室内ユニットのスイッチにより「本体」と「リモコン」が選択できます。初期設定は、「本体」となっております。室温センサ位置を「リモコン」に変更される場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
また、「リモコン」に変更時には、室温を誤測定することがありますので下記項目にご注意ください。
・リモコンを直射日光に当てないでください。
・リモコン右下部の周囲に障害物を置かないでください。
- 「運転ランプ」や「エラーコード」が点滅しているときは点検が必要です。エラーコードをメモして電源を切り、お買上げの販売店へご連絡ください。

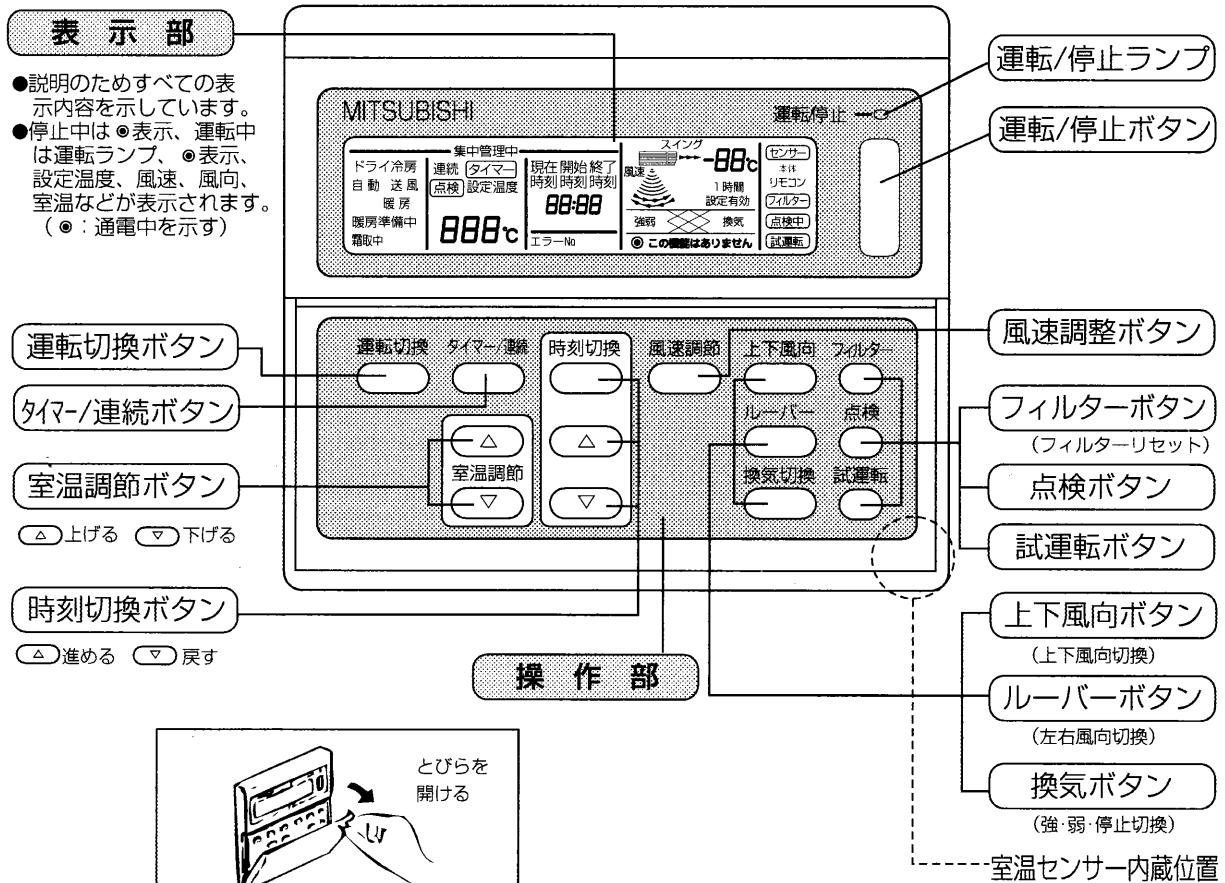


- 「フィルター」(プレフィルタークリーニングサイン) 表示が点滅したらプレフィルターの清掃をしてください。<12ページ お手入れのしかた参照>

お知らせ

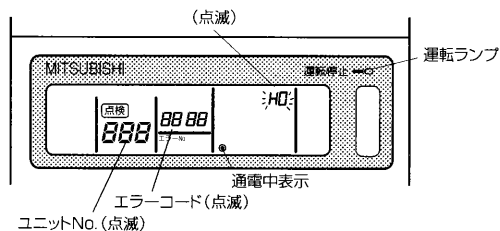
- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には「この機能はありません」と点滅表示が出ます。
- 1台のリモコンで複数の室内ユニットを同時運転しているシステムの場合、1台でも機能を装備していない室内ユニットがあれば、表示されません。(全ての室内ユニットに装備されている時に限り表示します。)

ネットワークリモコン



ネットワークリモコンガイド

- 電源を入れたとき、リモコン表示部に通電「入」表示(●)と **HO** (初期自動点検中表示) 点滅と運転ランプ点滅が表示されます。約3分間 (**HO** 点滅が消えるまで) お待ちください。停電が復帰したときにも動作 (**HO** 点滅) します。
- 冷房運転・ドライ運転と暖房運転は室外機の運転モードが異なります。運転ボタンを押しても、室内ユニットが動かずリモコンの運転モードが点滅している場合、同一室外ユニットに接続された他の室内ユニットがすでに異なる運転モードで運転しています。運転切換ボタンで他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- 室温センサ位置は、室内ユニットのスイッチにより「本体」と「リモコン」が選択できます。初期設定は、「本体」となっております。室温センサ位置を「リモコン」に変更される場合は、お買上げの販売店にご相談ください。また、「リモコン」に変更時には、室温を誤測定することがありますので下記項目にご注意ください。
 - ・リモコンを直射日光に当てないでください。
 - ・リモコン右下部の周囲に障害物を置かないでください。
- 「運転ランプ」や「エラーコード」が点滅しているときは点検が必要です。エラーコードをメモして電源を切り、お買上げの販売店へご連絡ください。



- 「フィルター」(プレフィルタークリーニングサイン) 表示が点滅したらプレフィルターの清掃をしてください。<12ページ お手入れのしかた参照>

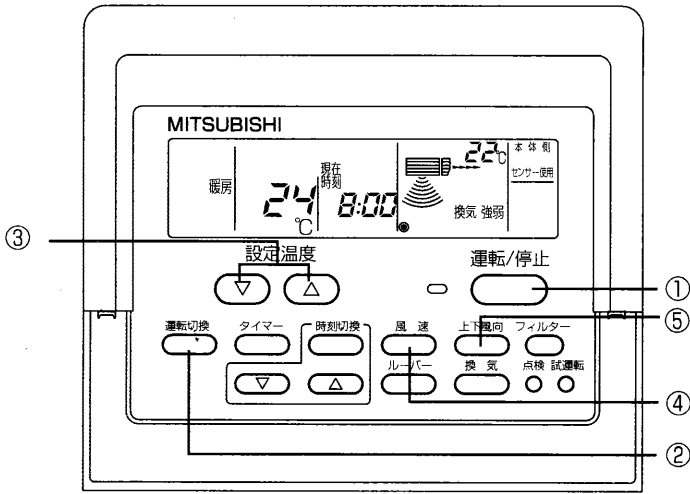
お知らせ

- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には「この機能はありません」と点滅表示が出ます。

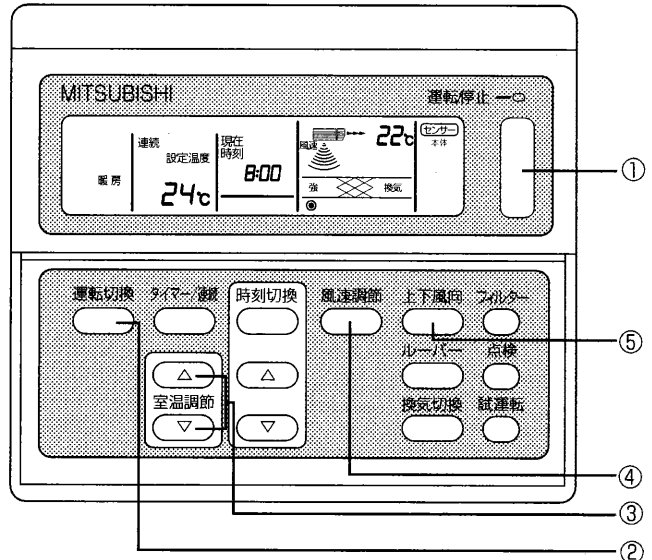
(1) 運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

●運転開始の前に...

電源（7ページ参照）が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。



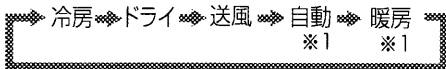
MAリモコン



ネットワークリモコン

運転開始、運転モードを選ぶとき

- / (運転/停止) ボタン①を押す。
● 運転ランプと表示が点灯します。
- (運転切換) ボタン②を押す。
● 1回押すごとに設定が切換わります。



※1 冷房専用機種の場合は、自動・暖房の表示はされません。設定もできません。

設定温度を変えたいとき

- 室温を下げたいとき... 室温調節ボタン③を押す。
- 室温を上げたいとき... 室温調節ボタン③を押す。
● 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
● 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

※室温表示の表示範囲は8~39℃です。これ以外の場合は8℃または39℃で点滅して表示温度より室温が低いまたは高いことをお知らせします。

風速を変えたいとき

- / (風量調整) ボタン④を押す。
● 1回押すごとに以下のように設定が切換わります

	風速	リモコン表示
PLFY-J-CLMD-C形	2段階	

お知らせ

●このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。

1. “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
2. 暖房運転直後（モード切換待機中）
3. 暖房モードで設定温度より室温が高いとき

運転を停止するとき

- / (運転/停止) ボタン①を押す。
● 運転ランプが消えて、●のみ表示されます。

再運転時の運転内容（リモコン設定）

- 再運転時は下記運転内容となります。

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度
風速	前回設定風速

△注意

運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。
水漏れや故障の原因となることがあります。

(2) タイマー運転のしかた

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

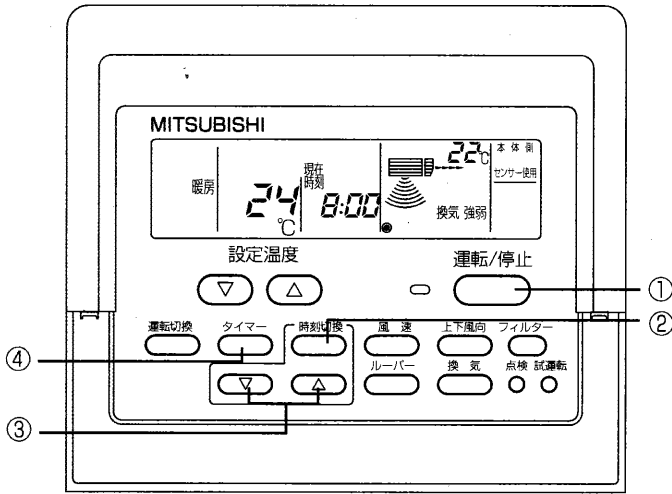
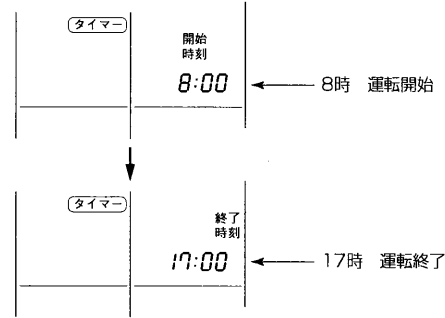
1. **入タイマー運転** 運転の開始のみをタイマーで行う
2. **切タイマー運転** 運転の停止のみをタイマーで行う
3. **入・切タイマー運転** 運転・停止の両方をタイマーで行う

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。

■タイマー運転中（**タイマー**）の表示がされているときは時刻設定・変更はできません。

■タイマー時刻設定は10分単位です。

タイマー設定表示例



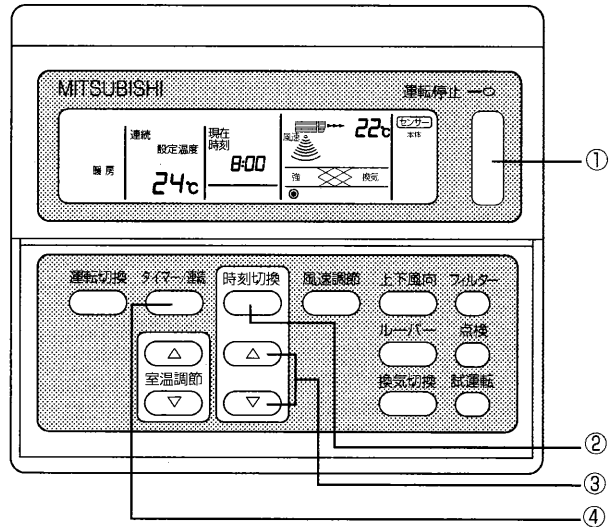
MAリモコン

現在時刻の設定を行うとき

- **時刻切換** ボタン②を押し、表示を **現在時刻** にする。
 - 1回押すごとに以下のように切替わります。
- 現在時刻 ⇨ 開始時刻 ⇨ 終了時刻 ⇨ 表示なし
- **△** ボタン③を1回押すごとに1分進み、**▽** ボタン③を1回押すごとに1分戻る。
 - ボタンを押し続けると早送り（早戻し）になります。
 - 時刻は1分単位→10分単位→時間単位の順に変化します。
 - 設定終了後約10秒でリモコンの表示は消えます。

入タイマー運転を行うとき

- **時刻切換** ボタン②を押し、**現在時刻** を確認し、表示を **開始時刻** にする。
- **△** または **▽** ボタン③を押しして開始時刻を設定する。
- 終了時刻 を **--:--** の表示に設定する。
 - **--:--** の表示は23:50と0:00の間に表示されます。
- **タイマー** / **タイマー/連続** ボタン④を押し、表示を **タイマー** にする。
 - 1回押すごとに 消灯 ⇨ **タイマー** に切替わります。



ネットワークリモコン

切タイマー運転を行うとき

- **時刻切換** ボタン②を押し、**現在時刻** を確認し、表示を **終了時刻** にする。
- **△** または **▽** ボタン③を押しして終了時刻を設定する。
- 開始時刻 を **--:--** の表示に設定する。
- **タイマー** / **タイマー/連続** ボタン④を押し、表示を **タイマー** にする。

入・切タイマー運転を行うとき

- 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
- **タイマー** / **タイマー/連続** ボタン④を押し、表示を **タイマー** にする。

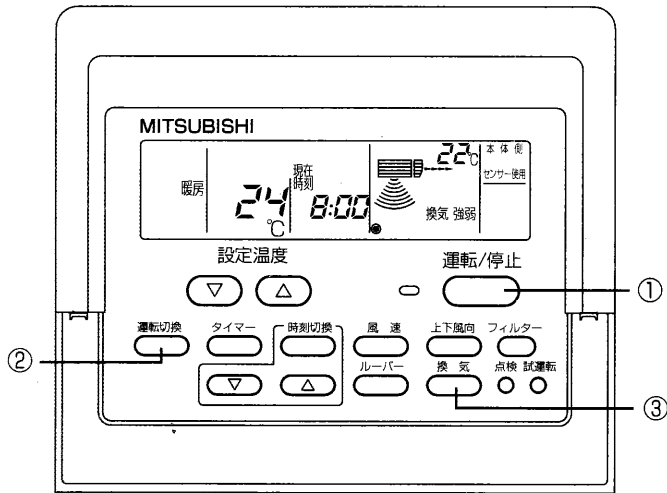
タイマー運転を解除するとき

- **タイマー** / **タイマー/連続** ボタンを押ししてリモコンの表示を **タイマー** ⇨ 消灯 / **連続** にしてください。

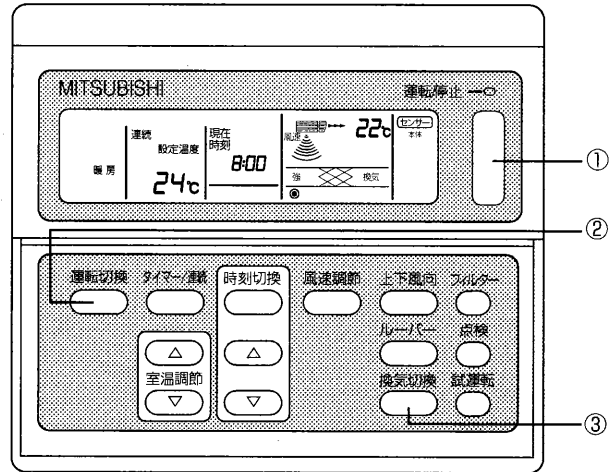
お知らせ

- タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

(3) 換気単独・換気連動運転のしかた



MAリモコン



ネットワークリモコン

換気連動運転を行うとき

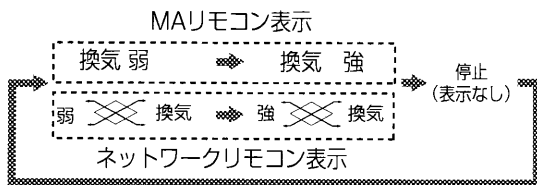
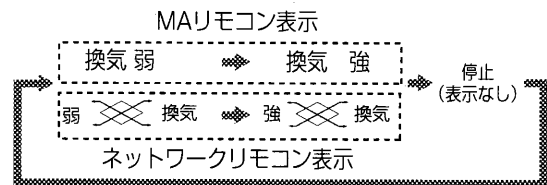
- (運転/停止) ボタン①を押す。
- 換気装置が連動接続している場合は、自動的に換気装置も運転します。

換気単独運転を行うとき

- 換気 / 換気風量 ボタン③を押す。
- 1回押すごとに以下のように切り替わります。

換気風量を変えたいとき

- 換気 / 換気風量 ボタン③を押す。
- 1回押すごとに、以下のように切り替わります。



- 換気 / 換気風量 ボタン③を押したとき、この機能はありませんの表示が点滅する場合は換気装置が連動接続されていません。

- 冷房運転・暖房運転などの必要がなく換気運転のみをしたい時に使用します。

上手な使い方

ほんのわずかな心がけで、冷房暖房効果、電気代などの点で一層効果的に使うことができます。

室内温度は適温に

- 冷房運転では、室内と室外の温度の差は約5℃以内が適温です。
- 室温を1℃以上上げると、約10%の電力が節約できます。(冷房運転時)

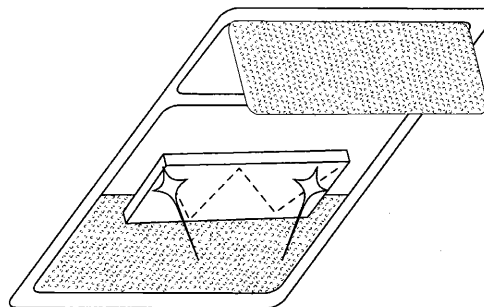


冷房時、熱の侵入を少なく

- 冷房時、直射日光の当たる窓からの、熱の侵入を少なくしてください。
- 出入口は、必要なとき以外は開けないようにしてください。

プレフィルターの清掃はこまめに

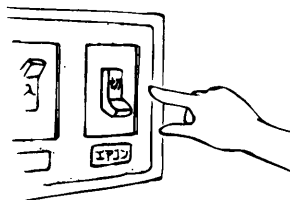
プレフィルターの目詰まりは風の流れを少なくし、冷房・暖房効果を弱めます。さらに、そのまま放置しますと故障の原因になります。特に冷房・暖房シーズンのはじめには清掃してください。また、清掃期間の目安は、12頁を参照してください。



4. お手入れのしかた

お手入れの前に

■必ず、電源を「切」にしてください。



プレフィルターの清掃

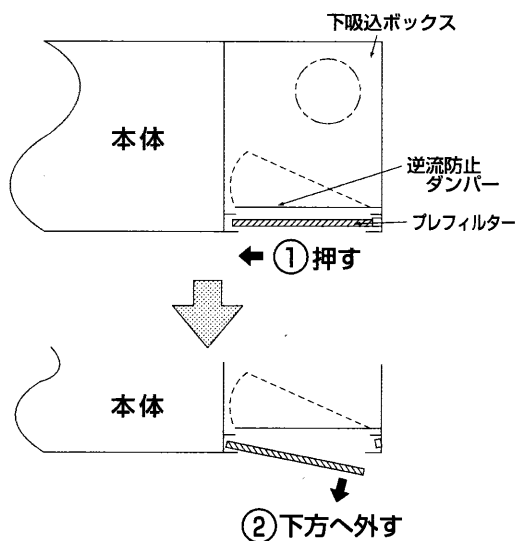
⚠注意

必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

●下吸込ボックスには、吸込空気のプレフィルターがあります。

下図を参照して、プレフィルターを清掃してください。(プレフィルターはシーズン始めなどに清掃してください。)

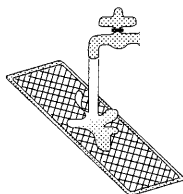
(1)プレフィルターを取外す。



(2)プレフィルターを水洗いする。

■中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水でゆすぎ洗いし、その後、洗剤をよく洗い落としてください。洗った後は、乾燥させてから、元どおりに取付けてください。

■熱い湯(約50℃以上)で洗うと、変形することがあります。



(3)水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

■プレフィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないうでください。変形することがあります。

(4)プレフィルターを元の状態に取付ける。(取外しの逆の手順)

⚠注意

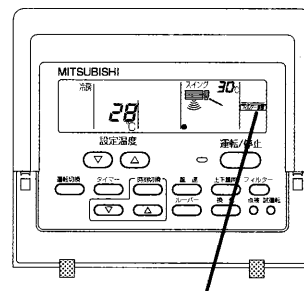
エアコンには、水をかけたり、可燃性スプレー等を吹きつけたりしないでください。水をかけたり、可燃性スプレー等を吹きつけて清掃すると、エアコンの故障や感電・火災の原因になることがあります。

プレフィルター清掃時期がくると

リモコンに“フィルター”(プレフィルタークリーニングサイン)表示を点滅させてお知らせします。

■フィルター清掃時期の積算時間は室内ユニットにより異なります。

室内ユニット	積算時間
PLFY-J・CLMD-C形	2500時間



プレフィルタークリーニングサイン

■“フィルター”表示は、下吸込ボックスの吸込口に取付けられたプレフィルターのことで。

“フィルター”表示をリセットする

(1)プレフィルター清掃後(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

■1つのリモコンで複数台の形名が違う室内ユニットを操作する場合、積算時間の早い方のユニットにより表示されます。また、フィルター表示を消すと、全ての積算時間がリセットされます。

■クリーニングサインは、一般的な室内でのフィルター種類による目安時間を表示しているものではありません。室内の空気条件を測定しているものではありません。ご使用の条件での汚れ程度にあわせてこまめに清掃してください。

⚠注意

プレフィルターの清掃は、こまめに行ってください。汚れたまま運転すると、能力の低下や故障の原因となることが考えられます。

HEPAフィルターの交換

- HEPAフィルターは、下表の前後差圧を目安にして、交換してください。
(終期圧損の目安は、初期圧損の約1.5倍です。)

形名		J36形	J45・56形	J71・80形
HEPAフィルター 前後差圧	初期	130Pa	120Pa	105Pa
	終期	195Pa	180Pa	160Pa

⚠警告

危険防止のためフィルターの取付け、取外し作業の途中で手を離すなどの行為はしないでください。
HEPAフィルターは重量物です。作業中の落下防止を十分に行ってください。

⚠注意

HEPAフィルターの圧損が増大すると、風量や冷暖房能力が減少しますので、ご注意ください。

- 室内ユニットには、HEPAフィルター前後差圧計測のため、ピトー管取付穴が設けてあります。

◆HEPAフィルターの脱着

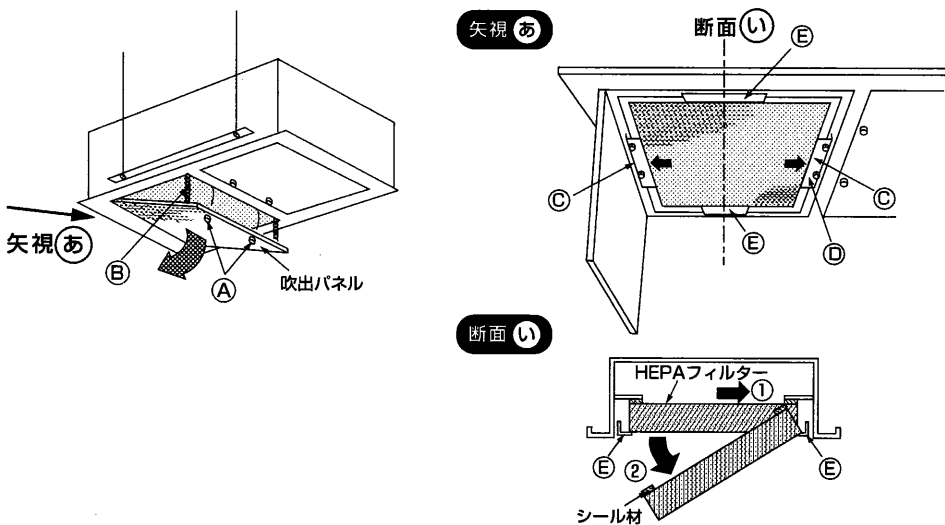
【はずしかた】

- ①吹出パネルのつまみネジ(A) (2カ所) を緩めて、吹出パネルを下方に開いてください。
- ②パネルの落下防止用チェーン(B) を取外してください。
- ③HEPAフィルターの締付枠(C) の六角ボルト(十字型ネジ山有) (D) (4カ所) を緩めてください。
- ④締付枠(C) とHEPAフィルターの枠が離れたら、締付枠(C) を矢印の方向にスライドさせてください。
このとき、HEPAフィルターがフィルター支え(E) に載っていることを確認してください。
- ⑤HEPAフィルターの落下に注意して、図の方向にHEPAフィルターを取外してください。

【とりつけかた】

上記【はずしかた】の逆の順序で取付けてください。

- ①フィルター支え(E) には、HEPAフィルターの枠が左右均等に載っていることを確認してから、締付枠(C) を締付けてください。
また、上下方向に注意してください。
- ②締付枠(C) は、HEPAフィルターの枠を水平になるように六角ボルト(D) をしっかりと締付けてください。



⚠注意

HEPAフィルターを取外すときは、室内の清浄度に影響が出ないように、慎重に行ってください。
また、踏み台に乗って行うときは、転倒しないように注意してください。

5. こんなときには・・・ Q&A

●動かない！

リモコンの運転表示が点灯しない。

■電源が入っていませんとリモコンの表示部に電源の表示“●”が点灯しません。
電源開閉器を入れてください。

リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。

■“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
“集中管理中”を解除してください。

再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

■エアコンを保護するため、マイコンの指示で止まっています。
再運転をした場合は、約3分間お待ちください。

●勝手に動き出した！

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

■リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。運転・停止ボタンを押して停止してください。
■遠方コントロールが接続されている場合、遠方での運転指示により自動的に運転を開始します。運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を開始します。
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■運転中に停電になったとき、電源が復帰すると自動的に運転を開始する停電自動復帰の機能に設定されているためです。
運転停止ボタンを押して停止してください。
※停電自動復帰の機能を作動させない場合は、販売店・工事店またはサービスにご連絡ください。

●勝手に停止した！

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

■リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■遠方コントロールが接続されている場合、遠方での停止の指示により自動的に運転を停止します。停止を指示したところへ連絡・確認してください。
■リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を停止します。
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

●よく冷えない、暖まらない！

よく冷えない。よく暖まらない。

■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです。
フィルターの清掃をしてください。
■室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか。室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。

●音がする！

水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。

“ピシッ、ピシッ”という音がする。

■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
異常ではありません。

排水音やモータの回転音がする

■冷房運転停止後に、他の室内ユニットが冷房運転をしている場合、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。
3分間お待ちください。
■運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転をしている場合、ドレン水が発生します。ドレン水が溜まるとドレンアップメカを運転し、排水を行うためです。しばらくすると止まります。
※1時間に2～3回以上の場合、サービスをお申しつけください。

6. 保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安 「保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。」

下記は、以下のご使用条件の場合です。

①頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。）

②製品の運転時間は、10時間/日、2,500時間/年と仮定しています。（氷蓄熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）

③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。

④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

⑤頻繁な発停のある場所、運転時間が長い場所。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ (ファン、ループドレノポンプなど)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為に役立ててください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用品の保有期間について

このエアコンの補修用品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は通商産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安 「交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。」

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルタ		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒータ		8年
平滑コンデンサ		10年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）の為に役立ててください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について[保証期間は、お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。[保証期間経過後の修理は有償になります。]
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」及び定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によく確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

7. 移設・工事・点検について

■移設について

- ①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
- ②据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

- ①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
- ②可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れて、ユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。
- ③次の場所への据付けは避けてください。
 - ・機械油の多いところ
 - ・湿気の多い場所
 - ・硫化ガスのあるところ
 - ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
 - ・海浜地区等塩分の多いところ
 - ・温泉地帯
 - ・高周波加工機（高周波ウェルダ等）のあるところ
 - ・特殊なスプレーを頻繁に使用するところなど、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
- ⑤病院・通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズンで使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

- ①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- ②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
- ③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買上げの販売店にご確認ください。
- ④据付場所によっては、漏電ブレーカの取付けが義務付けられています。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

- ①据え付けにあたっては、エアコンの重量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- ②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- ④エアコンをご使用中、異常音がする場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

8. 仕 様

【室内ユニット仕様表】

●PLFY-J・CLMD-Cシリーズ

		PLFY-J36CLMD-C	PLFY-J45CLMD-C	PLFY-J56CLMD-C	PLFY-J71CLMD-C	PLFY-J80CLMD-C
電 源		単相 200V 50/60Hz				
冷房能力	(kW)	3.6	4.5	5.6	7.1	8.0
暖房能力	(kW)	4.0	5.0	6.3	8.0	9.0
外形寸法	高さ	本体460/パネル35				
	幅	本体840/パネル960	本体995/パネル1115		本体1300/パネル1420	
	奥行	本体1300/パネル1420 (本体1700/パネル1820)				
風量 強・弱	(m ³ /min)	18-15	20-17		24-20	
騒音値 強・弱	(dB)	39-37	40-38.5		42-39	
製品質量 本体/パネ	(kg)	100/18 (113/25)	110/22 (126/31)		130/28 (150/39)	

- 注1. 奥行き寸法の（ ）内は、下吸込ボックス装置時の数値を示します。
 2. 上記仕様値は、標準機外静圧がJ36～J56形は38Pa時、J71、J80形は28Pa時の値です。
 3. 製品質量の（ ）内は、（下吸込ボックス装着時の本体質量/下吸込用化粧パネル）の値です。
 本体質量はHEPAフィルターの質量を含んでいます。
 4. 騒音値はA特性値です。

【使用範囲】

各機種シリーズの室内外ユニットの使用温度範囲は、以下記載のとおりです。ご使用になっている製品をお確かめのうえ、使用範囲をご確認ください。

▲注意

使用温湿度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

●インバータYシリーズ（システムにより、室外ユニットの使用温度範囲は異なります。）

- ・ 室外ユニット 冷房時：乾球温度 $-5^{\circ}\text{C}\sim 43^{\circ}\text{C}$ 暖房時：湿球温度 $-15^{\circ}\text{C}\sim 15.5^{\circ}\text{C}$
- ・ 室内ユニット 冷房時：乾球温度 $19^{\circ}\text{C}\sim 30^{\circ}\text{C}$ 暖房時：乾球温度 $17^{\circ}\text{C}\sim 28^{\circ}\text{C}$

注) 室内外共使用可能な湿度目安としては、相対湿度30～80%の範囲内でご使用ください。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、このようなことはありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとう便利です。

お買上げ店名

電話

お買上げ(据付)日

年

月

日

 **三菱電機株式会社**